

企業価値創造力の向上を図るために拡充・強化する具体的な取り組みの骨子

ROE 8 % 程度の達成

成長戦略による利益の増加

2025年度の連結営業利益を130億円程度に

- コア事業と位置付けている機械事業の持続的拡大を新たなステージに
- 事業ポートフォリオの見直し強化に加え、各事業部門内の事業（製品）ポートフォリオ戦略も可視化し、収益性の改善や低収益事業（製品）の見極めを推進

資本効率性の改善

政策保有株式の縮減

- 2025年3月末までに連結純資産に対する比率を20%未満まで縮減する目標を設定
→2025年3月末時点で、16.6%まで縮減し、目標を達成

自己資本のスリム化・最適化

株主還元

- 増配および中間配当を検討し、原則として1株当たり50円以上の年間配当金および連結自己資本総還元率3%以上を目安に
- 自己株式取得の目安を2024年3月期から2026年3月期までの3年間で50億円程度から3年間で130億円程度に増額することを公表（2025年2月10日）

資本コストの逡減

非財務リスクの逡減に資する適切な情報開示や投資者との積極的な対話

サステナビリティへの取り組み

非財務資本への投資（研究開発、知的財産、人的資本、DX）

財務リスクの逡減

格付戦略を核とした最適資本構成の追求

- 「A-」以上の格付引上げとなる財務水準
 - ・ デット・エクイティ・レシオ：0.5倍台に
 - ・ 有利子負債／EBITDA倍率：3倍台に